

学科名	電気通信工学科							
科目名	発変電工学							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年次前期			
必修・選択の別	選択科目							
担当者	牟田 浩司							
授業の到達目標 (シラバスから)	<p>水力発電の原理と設備について理解し、出力の計算ができる。(A1,C7) 火力発電の原理と設備について理解し、熱効率の計算ができる。(A1) 原子力発電における仕組み、核反応及び原子炉形式について理解し、発電効率の計算ができる。(A1,A9) 変電機能について理解し、輸送電力の計算ができる。(A1,A10,C6)</p>							
日程と内容	<p>0414 導入講義：講義内容の概略と授業の進め方、成績評価法、電気エネルギーとは 0421 水力発電の原理 0428 水力設備 0509 水力学・水車および付属設備 0512 発電計画と発電計算 0519 火力発電と熱力学 0526 火力発電所の仕組み 0602 火力発電所の設備 0609 火力発電所の熱効率計算 0616 原子力発電の原理 0623 原子炉の基本構成と炉形式 0630 新エネルギー発電 0707 変電の仕組みと電力の輸送 0714 総合演習 その1 0721 総合演習 その2 0728 定期試験</p>							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	15%		
	演習	5%	計	100%				
授業到達目標の達成度	概ね到達目標は達成できた。図や写真を多用して、丁寧な説明を心がけた。							
反省点	説明に時間を費やした分、演習時間が思うように取れなかった。講義も一方向になってしまった感がある。							
来年度の計画	授業内容に関しては現状の削減予定はないが、演習時間を十分確保できるように、講義内容を精査して授業計画を立てるようにする。なお、本分野は技術革新が目覚ましいので、最新のトピックをできるだけ織り交ぜて学生の興味を引き出すように努めたい。							
授業評価アンケートに対するコメント	初年度の授業にしては、ほぼ平均点を獲得でき、ほっとしている。自分としてはまだ満足な講義が出来ておらず、講義内容や説明の仕方を見直し、次年度はより良い講義となるようにしたい。							
履修登録者数	41名	定期試験 受験者数	41名	合格者数	36名	合格率	88%	